

令和7年度 学生生活の満足度調査結果（看護学科）

1 調査回答者

4年次6.5名.....（調査対象：65名 回答率：100.0%）

2 調査結果

1) 満足度調査

● 共通質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	12人 18%	40人 62%	13人 20%	0人 0%	65人	82%
	授業	0人 0%	13人 20%	38人 58%	14人 22%	0人 0%	65人	80%
	ICTの活用	2人 3%	15人 23%	38人 58%	10人 15%	0人 0%	65人	74%
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	8人 12%	29人 45%	28人 43%	0人 0%	65人	88%
	チューターのサポート体制	4人 6%	6人 9%	35人 54%	20人 31%	0人 0%	65人	85%
	職員のサポート体制	1人 2%	9人 14%	36人 55%	19人 29%	0人 0%	65人	85%
	保健室	0人 0%	2人 3%	37人 57%	26人 40%	0人 0%	65人	97%
	学生相談室	0人 0%	4人 6%	39人 60%	22人 34%	0人 0%	65人	94%
キャリアアップ	就職支援体制	0人 0%	7人 11%	31人 48%	27人 42%	0人 0%	65人	89%
	資格取得支援体制	2人 3%	5人 8%	36人 55%	22人 34%	0人 0%	65人	89%
自治会活動	大学祭	2人 3%	4人 6%	40人 62%	19人 29%	0人 0%	65人	91%
	スポーツ大会	1人 2%	7人 11%	37人 57%	20人 31%	0人 0%	65人	88%
	自治会活動全般	1人 2%	4人 6%	38人 58%	22人 34%	0人 0%	65人	92%
施設	図書館	0人 0%	4人 6%	30人 46%	31人 48%	0人 0%	65人	94%
	食堂	3人 5%	8人 12%	29人 45%	25人 38%	0人 0%	65人	83%
	施設や設備全般	2人 3%	12人 18%	35人 54%	16人 25%	0人 0%	65人	78%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	6人 9%	33人 51%	26人 40%	0人 0%	65人	91%

● 学科独自の質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	授業での学外演習	1人 2%	5人 8%	35人 58%	19人 32%	0人 0%	60人	90%
	各コースのカリキュラム (コース選択学生のみ回答)	0人 0%	1人 2%	20人 49%	20人 49%	0人 0%	41人	98%
	各コース制における講義・演習 (コース選択学生のみ回答)	0人 0%	1人 3%	20人 50%	19人 48%	0人 0%	40人	98%
	各コース制における実習 (コース選択学生のみ回答)	0人 0%	1人 3%	20人 50%	19人 48%	0人 0%	40人	98%
	式・行事 (入学宣誓式, 宣誓式, 公開講座など)	2人 3%	3人 5%	38人 63%	17人 28%	0人 0%	60人	92%
学生生活	ボランティア活動への支援	0人 0%	4人 6%	41人 63%	20人 31%	0人 0%	65人	94%
キャリアアップ	就職に関連した取組	1人 2%	9人 14%	35人 54%	20人 31%	0人 0%	65人	85%
	国家試験対策に関連した取組	2人 3%	6人 9%	32人 49%	25人 38%	0人 0%	65人	88%
自治会行事 学科行事	クラブ・サークルの活動 (クラブ・サークル加入者のみ回答)	2人 5%	4人 10%	21人 54%	12人 31%	0人 0%	39人	85%

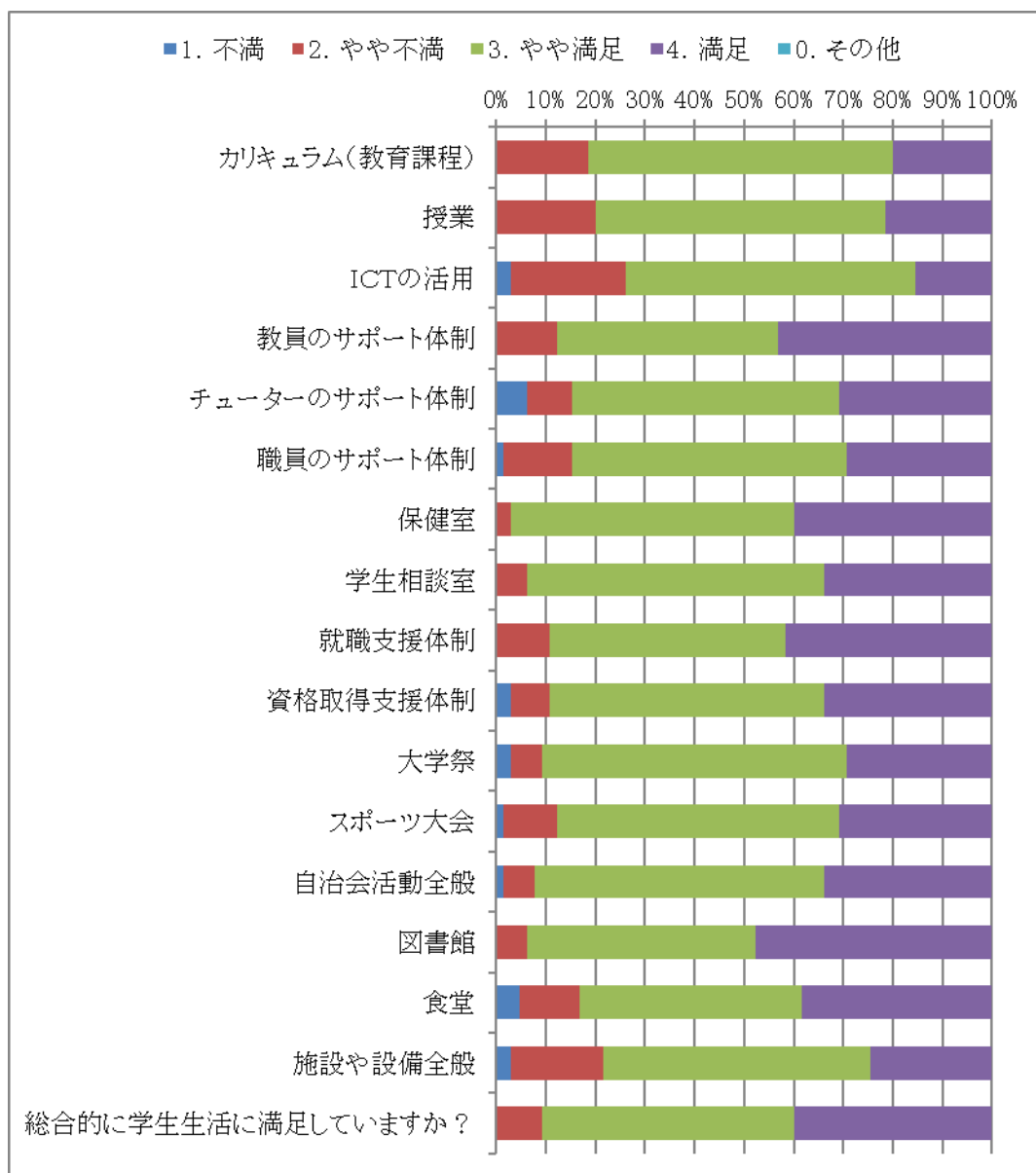
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計	満足度
看護専門職者としての豊かな人間性	1人	2%	0人	0%	34人	52%	30人	46%	0人	0%	65人	98%
看護専門職者としての高い倫理的態度	1人	2%	0人	0%	34人	52%	30人	46%	0人	0%	65人	98%
看護専門職者としての専門知識	1人	2%	1人	2%	36人	55%	27人	42%	0人	0%	65人	97%
看護専門職者としての技術	1人	2%	2人	3%	35人	54%	27人	42%	0人	0%	65人	95%
看護専門職者としての実践力	1人	2%	1人	2%	36人	55%	27人	42%	0人	0%	65人	97%
看護専門職者としての社会に貢献する力	1人	2%	0人	0%	37人	57%	27人	42%	0人	0%	65人	98%
看護専門職者としての問題解決能力	1人	2%	0人	0%	38人	58%	26人	40%	0人	0%	65人	98%
看護専門職者としての自己成長する力	1人	2%	0人	0%	34人	52%	30人	46%	0人	0%	65人	98%
看護専門職者としてのコミュニケーション・スキル	1人	2%	1人	2%	32人	49%	31人	48%	0人	0%	65人	97%
看護専門職者として獲得した知識・技術・態度を総合的に活用する力	1人	2%	0人	0%	36人	55%	28人	43%	0人	0%	65人	98%

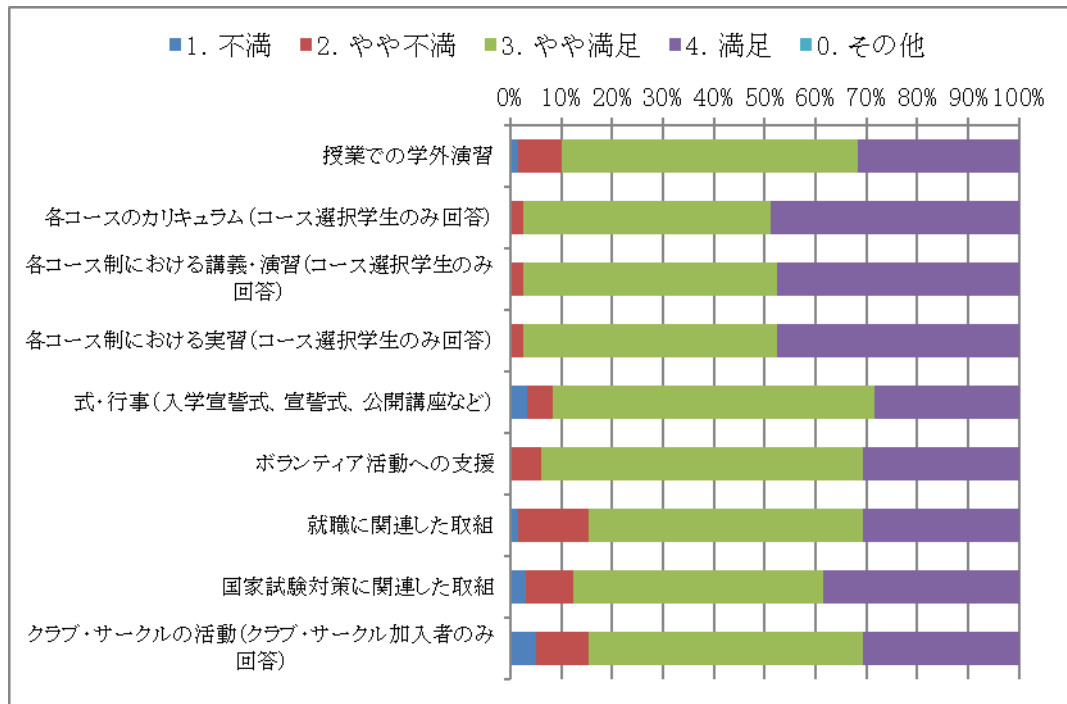
3 グラフ

1) 満足度調査

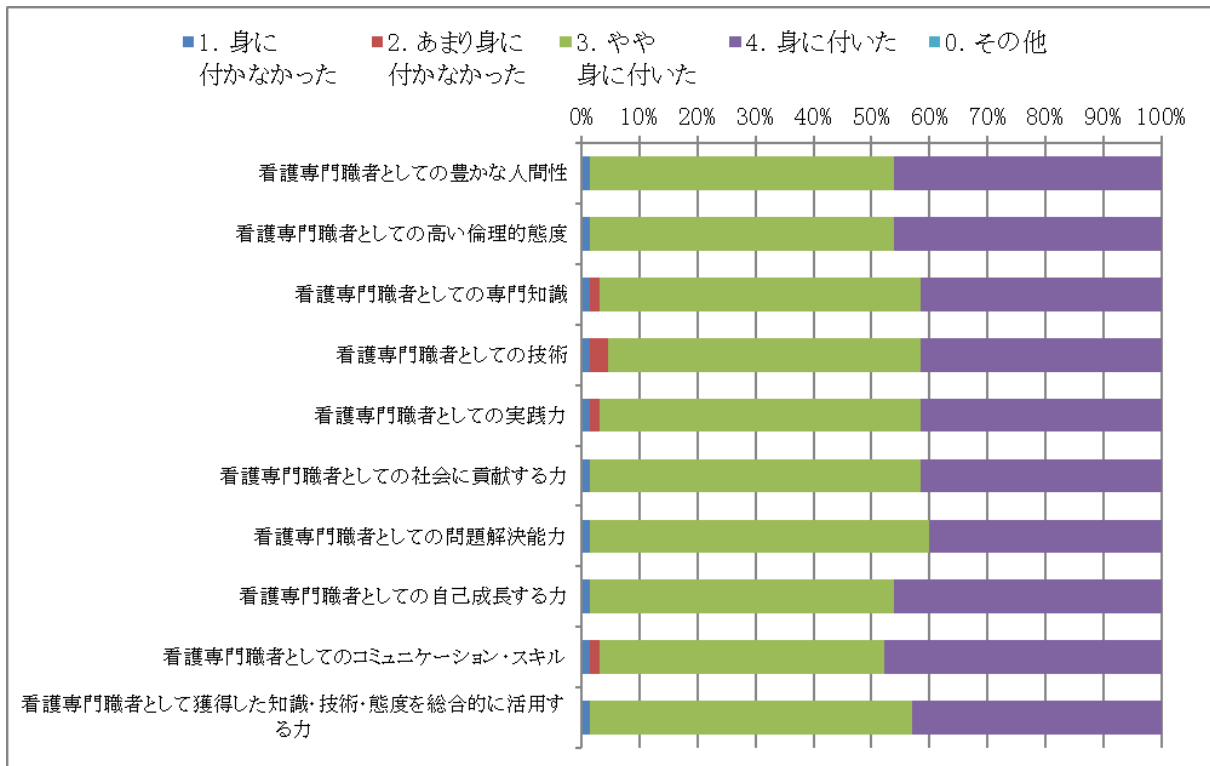
●共通質問項目



●学科独自の質問項目



2) 自己点検



4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

状況 ○共通質問項目

総合的な満足度は91%であり、昨年の89%から上昇した。もっとも満足度が高かったのは保健室、次いで学生相談室、図書室であった。

昨年度よりも満足度が下がったのは、ICTの活用、教員のサポート体制、チューターのサポート体制、食堂、施設や設備全般の6項目であった。ICTの活用は74%で最も低く、施設や設備全般も78%であった。

○学科独自の質問項目

各コース制における項目についての満足度は98%と高い。

就職に関連した取り組みや国家試験対策に関連した取り組み、クラブ・サークルの活動に関しては、90%より低い満足度であった。

課題

施設や設備全般の充実

学生のサポートの継続（個別の状況に応じた対応，安心できる場の確保，）

(2) 要因分析

学生生活のサポート体制や就職，国家試験に対する取組については，誰に頼ればよいのかわからなかった，という意見もあり，チューターを中心とした個別学生支援の継続が必要である。また，4年生は就職，国家試験などストレスフルな状況である。学生個々の状況に合わせ支援が必要となっている。

食堂に関しては，料金や利用時間，メニューなどが影響していると考えられる。

(3) 令和8年度の対策

教職員・相談室など連携し，相談しやすい支援体制をつくる。

学生の要望（施設設備等）に対し改善可能なことには早期に対応するとともに改善結果をフィードバックし，要望への対応について学生が認識できるように取り組む。

食堂のあり方についての検討

2) 自己点検のまとめ

すべての項目において、「身に付いた」「やや身に付いた」と答えた学生が97%を占めていた。

4年間の学修・臨地実習などの積み重ねによる学生の自信や成長の実感につながっている。

特に人間性や倫理的態度，社会に貢献する力など，多くの人とのかかわりの中で培われた結果と考える。

令和7年度 学生生活の満足度調査結果（子ども学科）

1 調査回答者

4年次49名.....（調査対象：49名 回答率：100.0%）

2 調査結果

1) 満足度調査

● 共通質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	2人 4%	24人 49%	23人 47%	0人 0%	49人	96%
	授業	0人 0%	2人 4%	26人 53%	21人 43%	0人 0%	49人	96%
	ICTの活用	0人 0%	5人 10%	24人 49%	20人 41%	0人 0%	49人	90%
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	4人 8%	18人 37%	27人 55%	0人 0%	49人	92%
	チューターのサポート体制	1人 2%	3人 6%	15人 31%	30人 61%	0人 0%	49人	92%
	職員のサポート体制	0人 0%	5人 10%	20人 41%	24人 49%	0人 0%	49人	90%
	保健室	0人 0%	3人 6%	24人 49%	22人 45%	0人 0%	49人	94%
	学生相談室	1人 2%	6人 12%	20人 41%	22人 45%	0人 0%	49人	86%
キャリアアップ	就職支援体制	0人 0%	5人 10%	15人 31%	29人 59%	0人 0%	49人	90%
	資格取得支援体制	0人 0%	3人 6%	18人 37%	28人 57%	0人 0%	49人	94%
自治会活動	大学祭	1人 2%	12人 24%	19人 39%	17人 35%	0人 0%	49人	73%
	スポーツ大会	1人 2%	13人 27%	16人 33%	19人 39%	0人 0%	49人	71%
	自治会活動全般	1人 2%	13人 27%	16人 33%	19人 39%	0人 0%	49人	71%
施設	図書館	0人 0%	4人 8%	18人 37%	27人 55%	0人 0%	49人	92%
	食堂	3人 6%	7人 14%	17人 35%	22人 45%	0人 0%	49人	80%
	施設や設備全般	4人 8%	7人 14%	17人 35%	21人 43%	0人 0%	49人	78%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	5人 10%	22人 45%	22人 45%	0人 0%	49人	90%

● 学科独自の質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	卒業研究指導	0人 0%	5人 10%	14人 29%	30人 61%	0人 0%	49人	90%
	実習指導体制	1人 2%	2人 4%	17人 35%	29人 59%	0人 0%	49人	94%
学生生活	保健室・学生相談室のサポート	0人 0%	5人 10%	20人 41%	24人 49%	0人 0%	49人	90%
	ボランティア活動	0人 0%	5人 10%	22人 45%	22人 45%	0人 0%	49人	90%
自治会行事 学科行事	オリエンテーションキャンプ	0人 0%	7人 14%	20人 41%	22人 45%	0人 0%	49人	86%

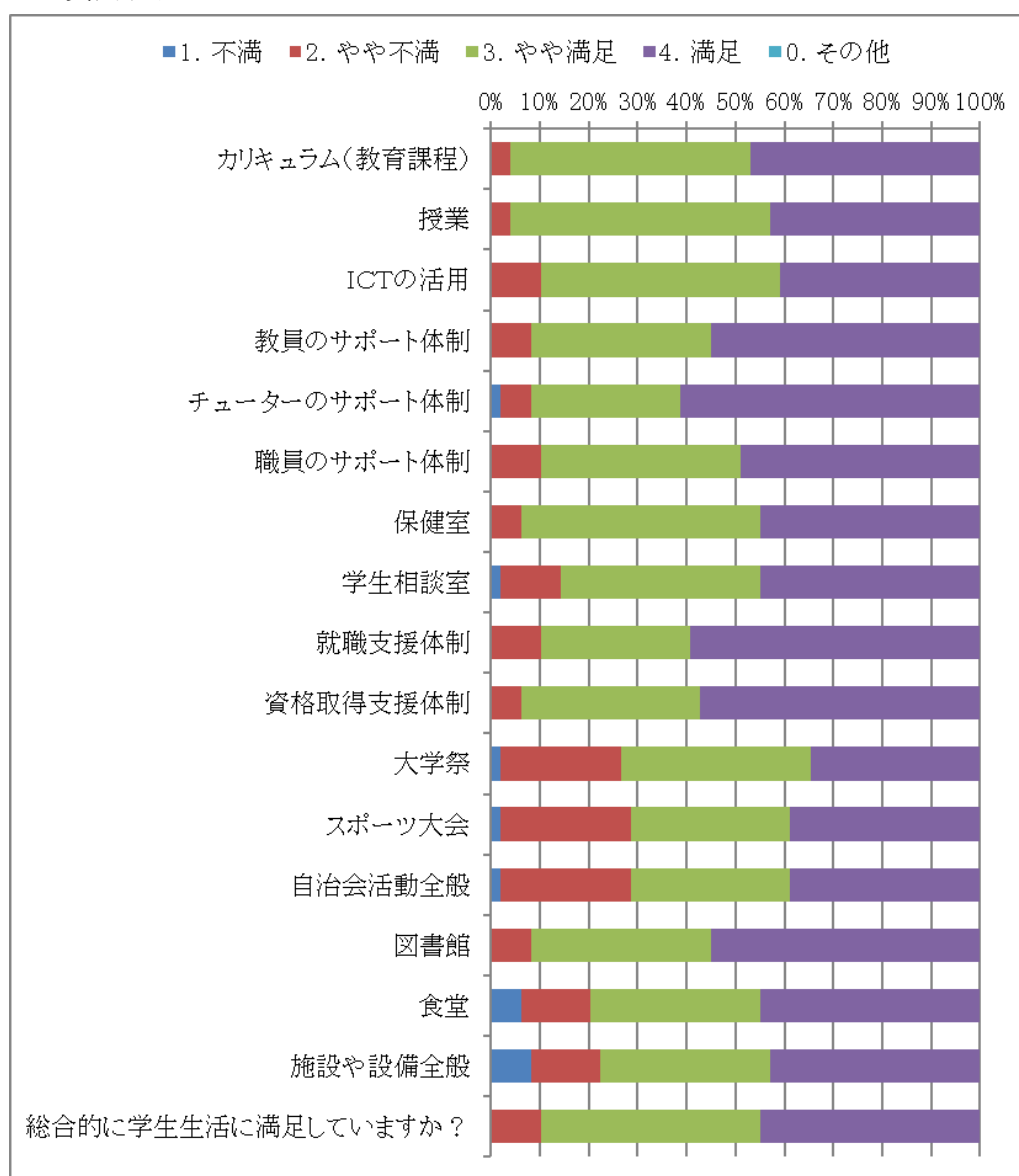
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. やや身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計	満足度
豊かな人間性と社会性を支える広い教養が身につきましたか？	0人 0%	2人 4%	19人 39%	28人 57%	0人 0%	49人	96%
子ども理解や学びに関する基礎理論を実践と結びつけて理解する力を身に付けることができましたか？	0人 0%	1人 2%	18人 37%	30人 61%	0人 0%	49人	98%
子どもに関わる者として必要な諸能力を備え、実践する力を身に付けることができましたか？	0人 0%	1人 2%	20人 41%	28人 57%	0人 0%	49人	98%
子どもに関する諸問題を見出し、主体的・協同的に研究する力を身に付けることができましたか？	0人 0%	2人 4%	20人 41%	27人 55%	0人 0%	49人	96%
実習及び子どもと関わるボランティア活動等を通じて、地域の教育文化に貢献しようとする姿勢を身に付けることができましたか？	0人 0%	1人 2%	19人 39%	29人 59%	0人 0%	49人	98%

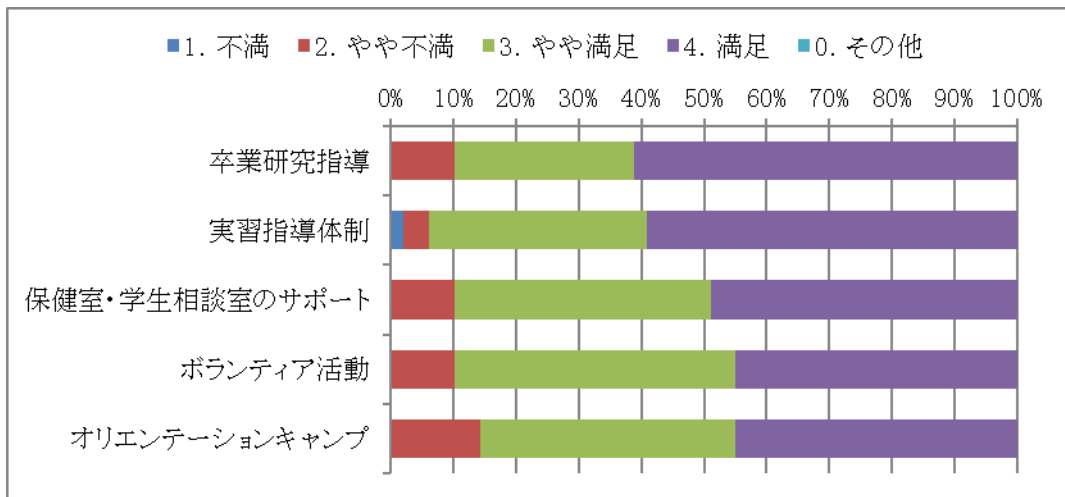
3 グラフ

1) 満足度調査

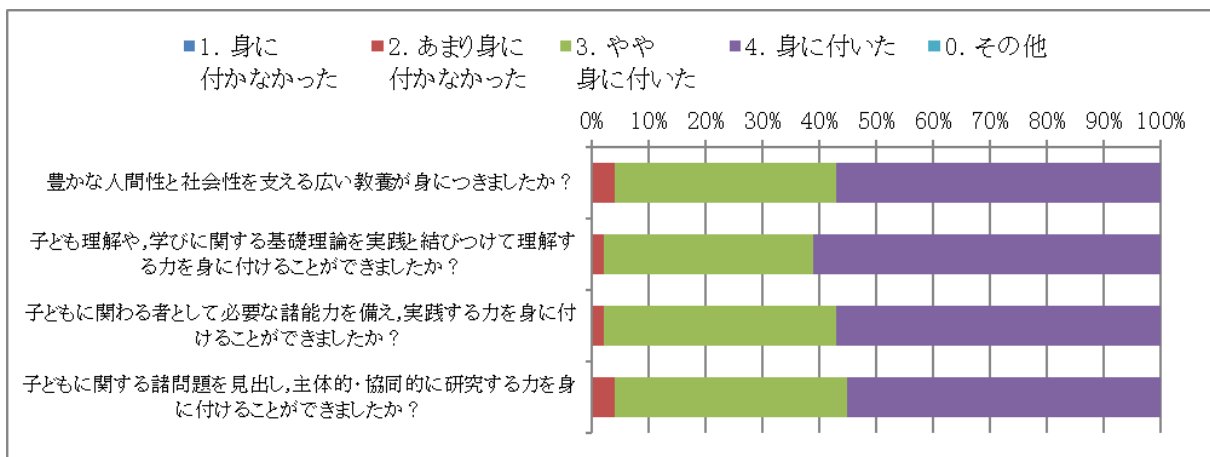
●共通質問項目



●学科独自の質問項目



2) 自己点検



4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

子ども学科4年生の状況をみると、全22項目の満足（やや満足＋満足の割合）と回答した割合は71%から96%の間にあり、90%以上の項目は12項目、平均は87.44%、総合的な満足度は90%であった。これらの結果から、全体として満足度は比較的高い水準にあり、本学科における教育活動及び学生支援が概ね肯定的に受け止められていると考えられる。

特に高かった項目としては、「カリキュラム（96%）」、「授業（96%）」といった教務に関する項目に加え、「保健室（94%）」や「資格取得支援体制（94%）」など、学修支援及び生活支援に関わる項目が挙げられる。

しかし、一方で「スポーツ大会（71%）」、「自治会活動全般（71%）」、「大学祭（73%）」などの自治会活動に関する項目については、他の項目と比較して満足度が低く、課外活動への関わり方に課題がみられる。

(2) 要因分析

カリキュラムや授業内容、教員・チューターによる支援の体制、資格取得の支援などについては高い評価が得られており、4年間の学修の積み重ねを通して、本学科の教育内容や支援体制が学生に一定程度評価されているものと考えられる。また、就職や進路選択を目前に、実践的な学びや支援の体制の有効性が実感されていることも考えられる。

しかしながら、自治会活動や学内行事に関する項目については、学生の関心や参加状況の変化に加え、4年生という卒業を控えた時期でもあり、関心事そのものが移行してしまったといった影響も可能性として考えられる。これらの点を踏まえながら、活動の在り方や参加しやすい仕組みについて検討していく必要がある。

(3) 令和8年度の対策

今後もカリキュラム及び授業の改善を、継続的に進めるとともに、これまでと同様に学生一人一人に寄り添った指導や就職支援の充実を図り、学修成果の向上と学生生活の充実につなげていく。

また、自治会活動や学内行事については、学生の主体性を尊重しながら参加しやすい環境整備を進め、学内活動の活性化を図る。

2) 自己点検のまとめ

自己点検の結果をみると、「身に付いた」「やや身に付いた」と回答した学生の割合は96%から98%の間にあり、平均は97.2%と非常に高い水準であった。これは4年間の学修を通して、子どもの理解や教育の実践に関わる知識や技能、主体的に学び、研究する姿勢が多くの学生に身に付いていることがうかがえる。

しかし、少数ではあるものの、「身に付かなかった」「あまり身に付かなかった」と回答した学生もみられる。この回答は、4年生の段階での結果として、重く受け止める必要があり、今後も個々の学生の状況に応じたきめ細かな指導と支援を継続していくことが重要である。

令和7年度 学生生活の満足度調査結果（音楽学科）

1 調査回答者

4年次3.0名.....（調査対象：30名 回答率：100.0%）

2 調査結果

1) 満足度調査

● 共通質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム(教育課程)	1人 3%	9人 30%	12人 40%	8人 27%	0人 0%	30人	67%
	授業	1人 3%	5人 17%	19人 63%	5人 17%	0人 0%	30人	80%
	ICTの活用	3人 10%	8人 27%	14人 47%	5人 17%	0人 0%	30人	63%
学生生活	教員のサポート体制	1人 3%	7人 23%	16人 53%	6人 20%	0人 0%	30人	73%
	チューターのサポート体制	0人 0%	1人 3%	11人 37%	18人 60%	0人 0%	30人	97%
	職員のサポート体制	2人 7%	7人 23%	13人 43%	8人 27%	0人 0%	30人	70%
	保健室	1人 3%	2人 7%	14人 47%	13人 43%	0人 0%	30人	90%
	学生相談室	1人 3%	2人 7%	19人 63%	8人 27%	0人 0%	30人	90%
キャリアアップ	就職支援体制	3人 10%	6人 20%	10人 33%	11人 37%	0人 0%	30人	70%
	資格取得支援体制	2人 7%	5人 17%	15人 50%	8人 27%	0人 0%	30人	77%
自治会活動	大学祭	5人 17%	2人 7%	18人 60%	5人 17%	0人 0%	30人	77%
	スポーツ大会	3人 10%	7人 23%	15人 50%	5人 17%	0人 0%	30人	67%
	自治会活動全般	3人 10%	4人 13%	18人 60%	5人 17%	0人 0%	30人	77%
施設	図書館	0人 0%	0人 0%	15人 50%	15人 50%	0人 0%	30人	100%
	食堂	2人 7%	8人 27%	12人 40%	8人 27%	0人 0%	30人	67%
	施設や設備全般	2人 7%	15人 50%	8人 27%	5人 17%	0人 0%	30人	43%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	3人 10%	2人 7%	16人 53%	9人 30%	0人 0%	30人	83%

● 学科独自の質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	実技レッスン	0人 0%	0人 0%	8人 27%	22人 73%	0人 0%	30人	100%
学生生活	保健室・学生相談室のサポート	0人 0%	3人 10%	16人 53%	11人 37%	0人 0%	30人	90%
自治会行事 学科行事	オリエンテーションキャンプ	3人 10%	5人 17%	15人 50%	7人 23%	0人 0%	30人	73%
	定期演奏会	3人 10%	2人 7%	17人 57%	8人 27%	0人 0%	30人	83%

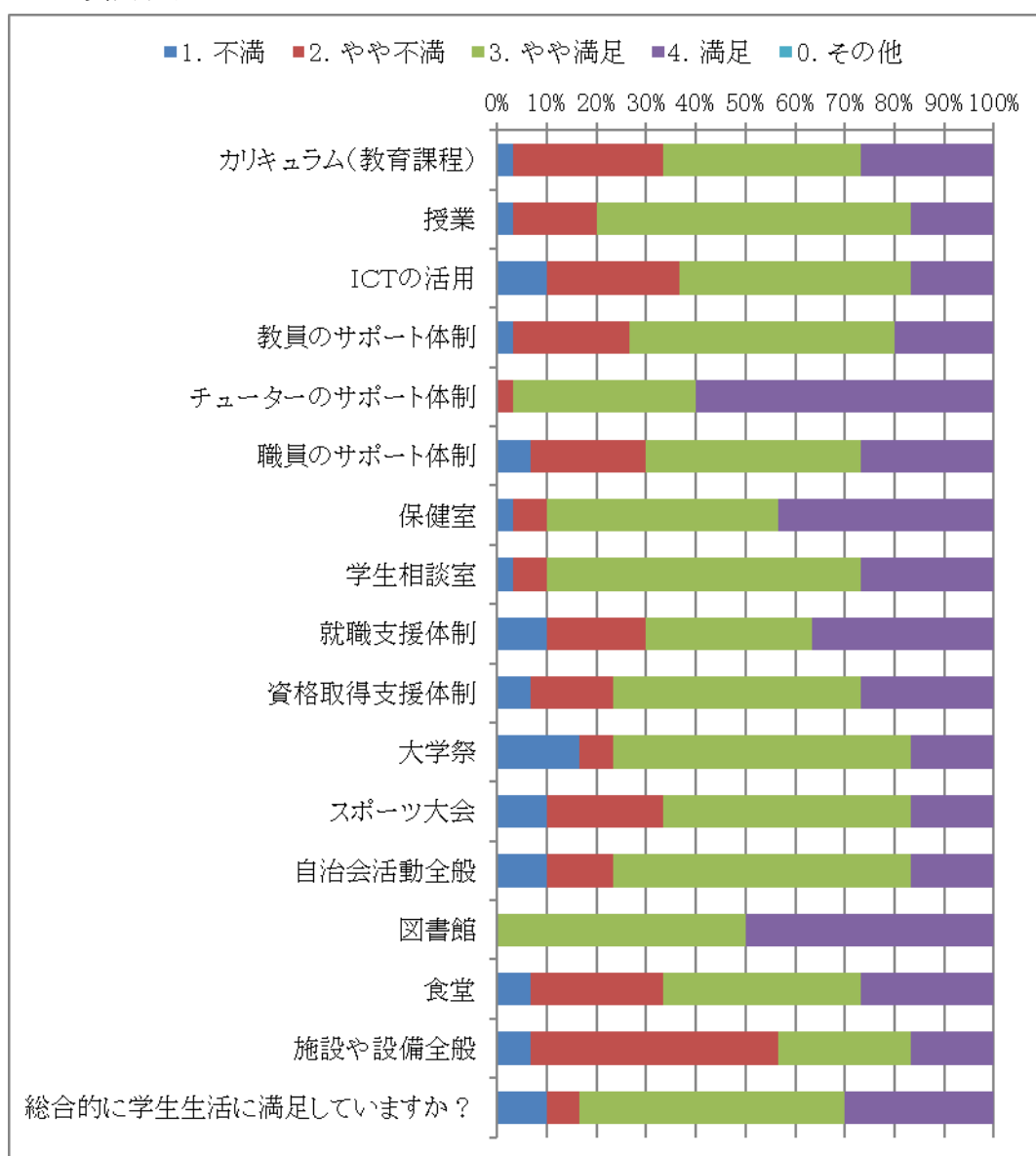
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. やや身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計	満足度
豊かな人間性と社会性を支える広い教養が身につきましたか？	2人 7%	3人 10%	15人 50%	10人 33%	0人 0%	30人	83%
音楽に関する専門力が身につきましたか？	0人 0%	0人 0%	18人 60%	12人 40%	0人 0%	30人	100%
音楽のコミュニケーションに必要な実践力が身につきましたか？	0人 0%	0人 0%	19人 63%	11人 37%	0人 0%	30人	100%
音楽が人間に果たす役割、および社会における音楽の役割について理解しましたか？	1人 3%	2人 7%	18人 60%	9人 30%	0人 0%	30人	90%
音楽を社会に向けて発信、伝授する能力が身につきましたか？	1人 3%	3人 10%	17人 57%	9人 30%	0人 0%	30人	87%
地域の音楽文化に貢献できる指導力と応用力が身につきましたか？	1人 3%	1人 3%	21人 70%	7人 23%	0人 0%	30人	93%

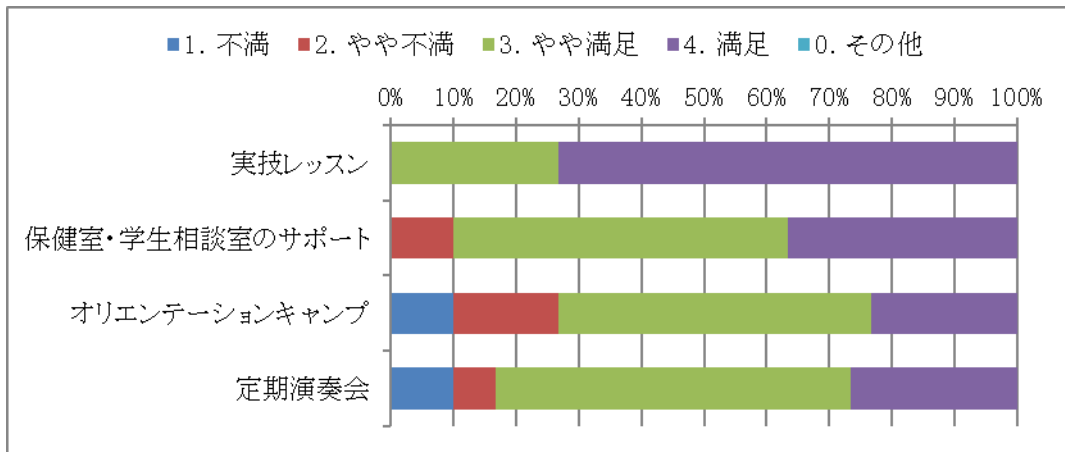
3 グラフ

1) 満足度調査

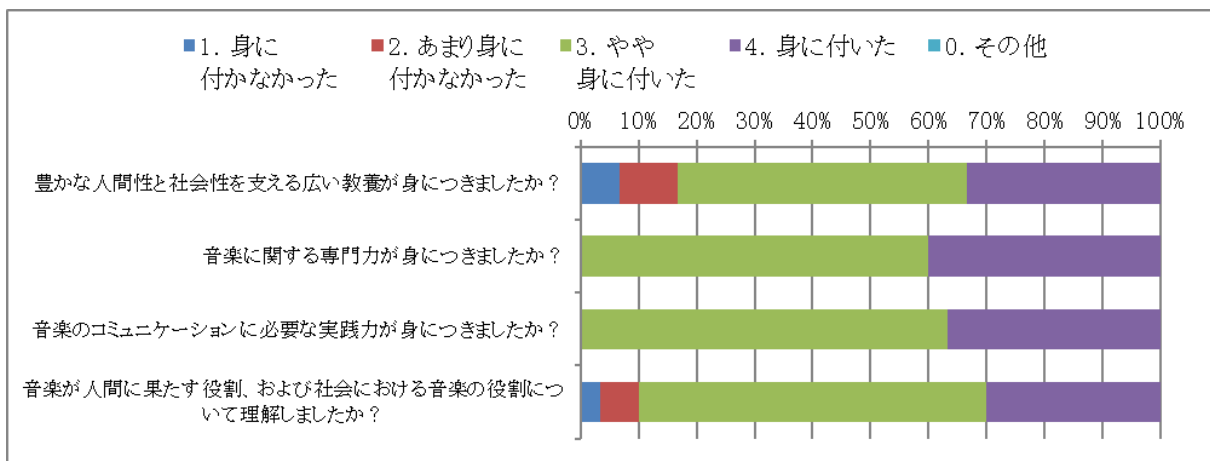
●共通質問項目



●学科独自の質問項目



2) 自己点検



4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

音楽学科4年生の満足度を共通質問項目で分析してみると、授業や人的サポート態勢においては満足、やや満足で90%前後の満足度を示してくれており、2年次よりも全体的に4%アップしている。

ただ ICT の活用においては導入後の時間が少ないためか逆に12%ダウンしている。

保健室、学生相談室、図書館など対人的な場は90%以上の満足度で高い数値を示している。

それに引き換え自治会活動やスポーツ大会などは、満足度が70%台に落ちてしまっており、今後の課題としてあげられる。

特に施設や設備全般の評価では50%を下回ってしまっている。

学科独自の質問項目ではやや満足、満足で実技レッスンが100%を示しているが、オリエンテーションキャンプでは73%と低い。

自己点検の学修効果としては概ね身についた評価が多くが90%以上であったが、広い教養、社会に貢献できる力が80%台であった。

(2) 要因分析

演奏そのものに関する実技レッスンにおいては100%と満足度が高く、対人間とのマンツーマンの強みを改めて感じる。非常勤講師を交えた楽器ごとのアンサンブル演奏会などの開催が大きく学生たちに達成感や充実感を感じさせてくれているように思われる。

行事に関する点はコンサート計画と重なってしまったり、練習を組みにくくしてしまうことが考えられる。カリキュラムに関しては他キャンパスでの受講を強いられたためと思われる。

さらに学科独特の問題と思われるが、スポーツ大会で特に指などにけがをする心配が伴い、敬遠してしまうという誰もが感じている事実がある。

施設や設備全般に関しては極端に低く40%台と落ち込んでいるが、大雨のための天井の崩れ落ちなど備品楽器に多大な被害を被った記憶があるのと、教員の私物楽器を備品楽器として使用している現状も影響していると思われる。

図書館の満足度が100%と高いのは、必要な楽譜の購入への支援や図書イベント開催での出演などが挙げられる。

(3) 令和8年度の対策

満足度の高かったマンツーマンでの実技レッスンなどは引き続き非常勤講師とも緻密な連絡を取り合いながら、継続していきたい。

施設への不満度に関しては限りある練習室など練習室の予約システムを活用して、空き時間帯を少なくする取り組みを推し進めていきたい。早朝の練習なども推奨し、今ある施設の効率的な利用を促進していく。備品楽器の購入を予算で獲得する。

今年度はレコーディングルームを施設・設備改善費として申請しており、ポピュラー系のみならず、クラシックコンクールへの音源審査へ対応できる録音ができるようにぜひ実現したい。

4) 自己点検のまとめ

概ね身についてきていると感じている割合がほとんど90%を越えているが、広い教養や社

会へ向けての発信力など、学問の大切さも授業、レッスンを通して説いていく必要がある。
特に音楽に関する専門力の修得は音を通してコミュニケーションの実践力に繋がっており、
ともに100%の満足度は学科の指導結果といえる。

令和7年度 学生生活の満足度調査結果（スポーツ健康福祉学科）

1 調査回答者

4年次 140名（調査対象：143名 回答率：97.9%）

2 調査結果

1) 満足度調査

● 共通質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	4人 3%	73人 52%	63人 45%	0人 0%	140人	97%
	授業	0人 0%	5人 4%	77人 55%	58人 41%	0人 0%	140人	96%
	ICTの活用	3人 2%	7人 5%	78人 56%	52人 37%	0人 0%	140人	93%
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	3人 2%	58人 41%	79人 56%	0人 0%	140人	98%
	チューターのサポート体制	0人 0%	1人 1%	42人 30%	97人 69%	0人 0%	140人	99%
	職員のサポート体制	1人 1%	3人 2%	55人 39%	81人 58%	0人 0%	140人	97%
	保健室	1人 1%	9人 6%	60人 43%	70人 50%	0人 0%	140人	93%
	学生相談室	0人 0%	8人 6%	52人 37%	80人 57%	0人 0%	140人	94%
キャリアアップ	就職支援体制	1人 1%	3人 2%	53人 38%	83人 59%	0人 0%	140人	97%
	資格取得支援体制	0人 0%	7人 5%	56人 40%	77人 55%	0人 0%	140人	95%
自治会活動	大学祭	7人 5%	15人 11%	59人 42%	59人 42%	0人 0%	140人	84%
	スポーツ大会	4人 3%	9人 6%	54人 39%	73人 52%	0人 0%	140人	91%
	自治会活動全般	6人 4%	9人 6%	62人 44%	63人 45%	0人 0%	140人	89%
施設	図書館	6人 4%	4人 3%	54人 39%	76人 54%	0人 0%	140人	93%
	食堂	10人 7%	18人 13%	48人 34%	64人 46%	0人 0%	140人	80%
	施設や設備全般	10人 7%	14人 10%	50人 36%	66人 47%	0人 0%	140人	83%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	6人 4%	57人 41%	77人 55%	0人 0%	140人	96%

● 学科独自の質問項目

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	時間割	0人 0%	6人 4%	53人 38%	81人 58%	0人 0%	140人	96%
	履修登録の入力・確認のしやすさ	1人 1%	11人 8%	47人 34%	81人 58%	0人 0%	140人	91%
学生生活	学生の自主的活動に対する支援	0人 0%	3人 2%	56人 40%	81人 58%	0人 0%	140人	98%
	HBG夢カルテの入力・確認のしやすさ	1人 1%	9人 6%	54人 39%	76人 54%	0人 0%	140人	93%
キャリアアップ	キャリア相談のしやすさ	1人 1%	6人 4%	46人 33%	87人 62%	0人 0%	140人	95%
自治会行事	クラブ活動・サークル活動	0人 0%	2人 2%	39人 33%	76人 65%	0人 0%	117人	98%

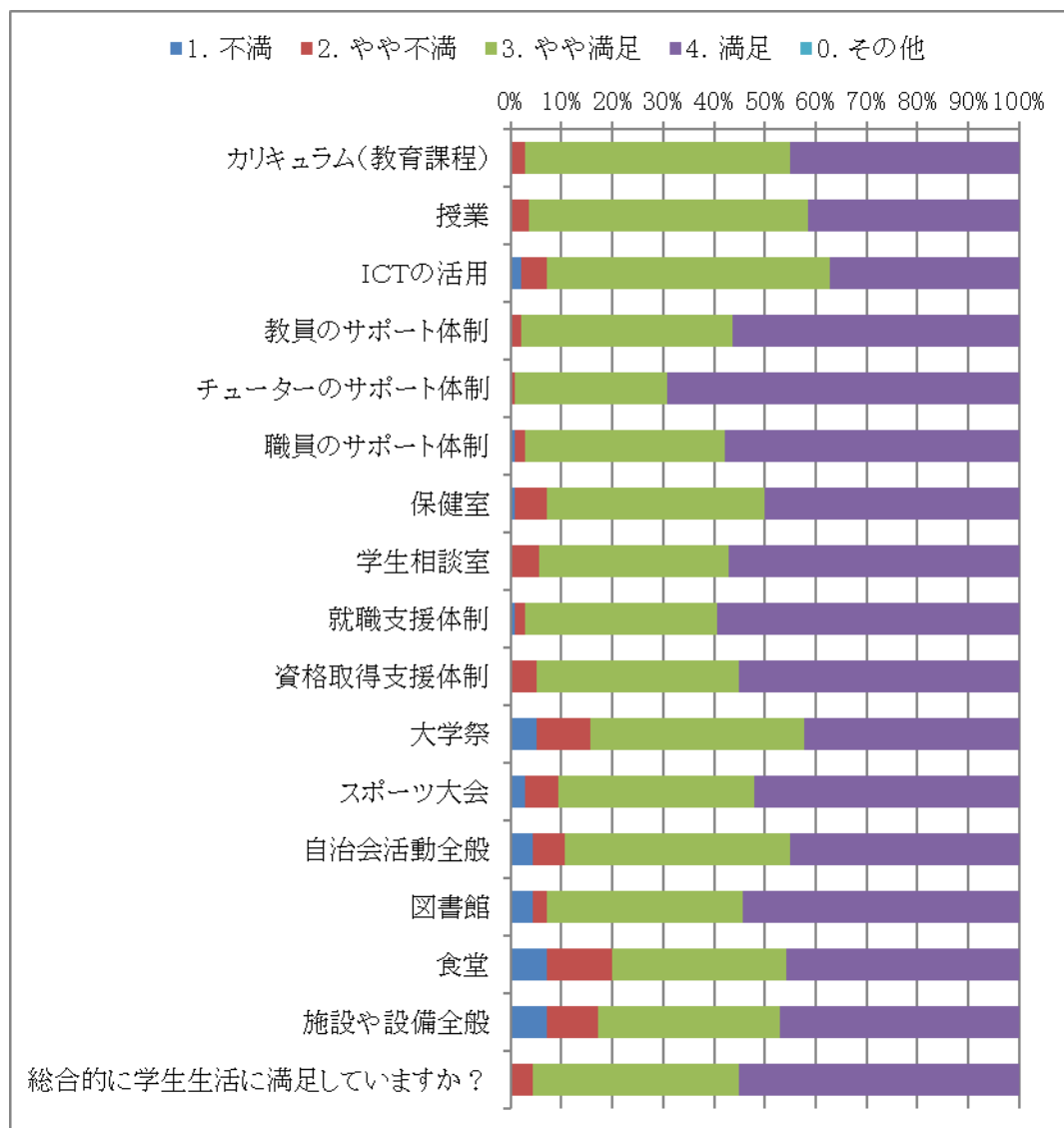
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計	満足度
主体的に学修する真摯な態度を有し、幅広い教養と豊かな人間性・社会性を身に付け、多角的に物事を捉える力を身に付けている。	0人	0%	2人	1%	65人	46%	73人	52%	0人	0%	140人	99%
人間の健康についてスポーツ健康及び健康福祉に関する専門的知識に基づいて、関心のある事象に対して科学的に考える力を身に付けている。	0人	0%	2人	1%	62人	44%	76人	54%	0人	0%	140人	99%
人間の健康について身につけた知識・技能等を総合的に活用し、理論の探求と実践を行うことにより、今日的課題の解決に取り組む力を身に付けている。	0人	0%	2人	1%	69人	49%	69人	49%	0人	0%	140人	99%
社会人に必要な創造力、計画力、実行力、コミュニケーション能力、チームワーク力を修得し、地域における教育やスポーツ及び福祉の現場で活躍できる力を身に付けている。	0人	0%	4人	3%	61人	44%	75人	54%	0人	0%	140人	97%

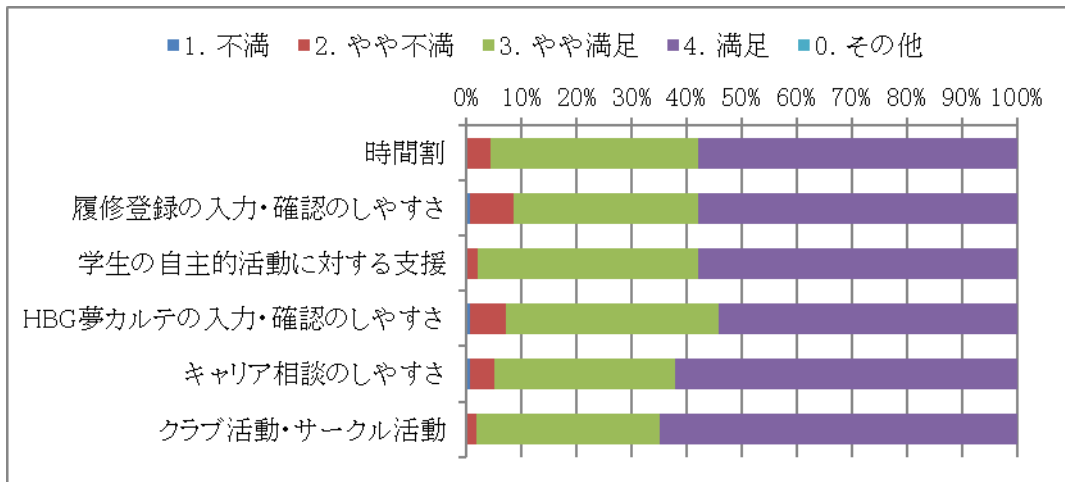
3 グラフ

1) 満足度調査

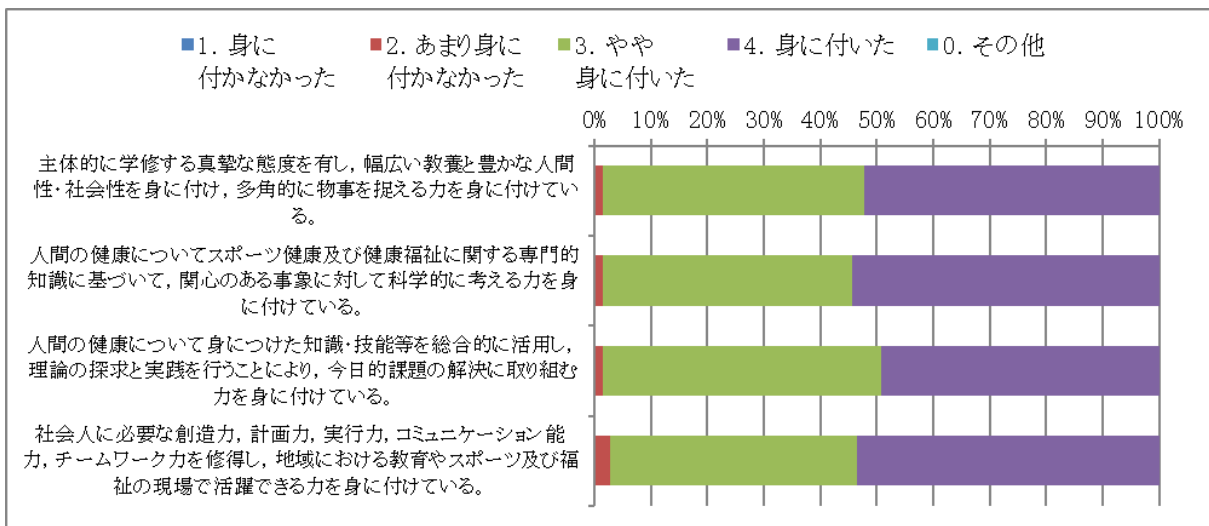
● 共通質問項目



●学科独自の質問項目



2) 自己点検



4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

・状況

総合：総合的に学生生活に満足していますか：96%

<やや満足・満足という回答が90%未満の項目>

- ・大学祭
- ・自治会活動全般
- ・食堂
- ・施設や設備全般

・課題

大学祭の充実。

食堂および施設や設備全般の充実。

(2) 要因分析

ほとんどの項目が高い値を示した。90%未満の項目は、大学祭、自治会活動全般、食堂、施設や設備全般であった。大学祭については、自治会主体での実施が3回目であり、まだ準備が遅れることがあり、満足度が低下したと考えられる。また自治会役員の不足も準備等が遅れ、充実した行事にならなかった要因であると考えられる。食堂については、メニューの充実度が低いことや営業時間、施設や設備については休憩時間等の学生の居場所がないことや坂キャンパス・マシントレーニング室の設備の不足が要因として考えられる。

(3) 令和8年度の対策

- ・大学祭に向けて早期の準備開始、内容の充実の検討
- ・食堂のあり方についての検討
- ・居場所づくりとして、環境整備
- ・坂キャンパス・マシントレーニング室のマシンの入れ替え

2) 自己点検のまとめ

全ての項目において、「身に付いた」「まあまあ身に付いた」という回答が90%を超える結果となった。「主体的に学習する真摯な態度を有し、幅広い教養と豊かな人間性・社会性を身に付け、多角的に物事を捉える力」が99%、「人間の健康についてスポーツ健康及び健康福祉に関する専門的知識に基づいて、関心のある事象に対して科学的に考える力を身に付けている」99%、「人間の健康について身に付けた知識・技術等を総合的に活用し、理論の探求と実践を行う事により、今日的課題の解決に取り組む力」が99%、「社会人に必要な想像力、計画力、実行力、コミュニケーション能力、チームワークを修得し、地域における教育やスポーツ及び福祉の現場で活躍できる力」97%となり、いずれも高値を示した。4年間の多くの経験が、様々な知識と技術を身に付けることにつながり、社会人としての準備が整ってきたと考えられる。